

スポーツの魅力

皆さんも「夏といえば」で連想するものはたくさんあると思います。その一つに全国高等学校野球選手権大会いわゆる「夏の甲子園」を思い浮かべる人も少なくないのではないのでしょうか。執筆中の現在、千葉大会の真っ最中であり日々熱戦が繰り広げられており、その魅力は、プロ野球のようにリーグ戦ではなく、負けたら終わりのトーナメント方式で、筋書きがなく、たった1球の出来事で涙を流す、そんなところではないでしょうか。特に高校野球は、成長過程にある選手が多く、ミラクルが起きやすいこともあります。一生懸命にプレーをする選手は試合の最中にも成長をします。世代ナンバーワンといわれる投手がいるチーム相手にも、粘り強く試合を展開し、見事勝利につながるなど、試合は最後まで何が起きるか分からないので、見応えがあるのだと思います。そのハラハラドキドキ感満載な展開に皆はまってしまうのでしょうか。

甲子園への出場は、理想でいえば地元母校が出てくれたらいいのですが、うが、なかなか簡単にいかないのが、高校野球なわけです。千葉県の高校が甲子園で試合しているのを見ると、ついそこで長居をしてしまいます。地元

のどこの高校であつても、やっぱり応援したくなるものです。地元愛つていいですね！ ちなみに私は両校のエールの交換が好きです。



さて、広報が発行される頃には2024年パリオリンピックも開幕し、こちらも歴史的な新記録や、喜びの瞬間など、オリンピック史に刻まれる名シーンがきっと生まれていることでしょう。オリンピックは4年に一度開催される世界的なスポーツの祭典で、スポーツを通じた人間育成と世界平和を究極の目的とし、夏季大会と冬季大会が行われています。近年では従来のテーマである「スポーツ」と「文化」に「環境」が加わり、オリンピックは世界中の人々が地球環境について考える機会にもなりました。アスリートが生み出す興奮と感動、そして環境保護への取り組みが、世界中の人々の絆をより強く、固く、結んでいくことを期待します。

改めて今年の夏はスポーツの魅力に触れながら、皆さんで選手にエールを送りましょう。

匝瑳市長 宮内康幸

匝瑳探訪

戦没者の慰霊

東小笹を歩く

8月15日は終戦から79年目の記念日となります。政府主催の全国戦没者追悼式への参列者も遺族の高齢化などで、年々減少していることが報じられ、時の経過が感じられます。昨年10月、共興地区で20年ぶりに「戦没者慰霊祭」が執り行われたと聞き、県道299号線を間に小学校と対面するようにある地区の「護国神社」を訪ねました。境内の案内板「護国神社のいわれ」には、「この神社は、日清、日露の大戦と今次の大東亜戦争で、尊い命を落



共興地区の護国神社

とされた、共興地区一六二名の英霊を祀る神社です。」と書かれています。共興地区では昭和53(1978)年に全戸加入の「英霊に答える会」を結成し、護国神社の整備を行い、毎年4月に区長会をはじめ各種団体による英霊顕彰の祭儀を執行了とされます。日清、日露戦争に従軍後、予備役などの軍人により共興村にも「在郷軍人会」が組織され、大正5(1916)年の会員は236人。当時の世帯数は534戸なので、村の半数近い家から兵士が出ていたことになるでしょう。昭和11(1936)年、共興小学校に御真影が下賜され、奉安殿が完成し、次第に戦時下教育としての性格が強くなり、示されるようになりました。

戦後、昭和21(1946)年、文部省より小学校から奉安殿全面撤去の指示が出されました。共興地区の護国神社の頑丈そうな社殿は、解体を免れた奉安殿の名残のようなものが感じられます。このことは記録や言い伝えを拾うことができなかったため、印象のみとしておきます。

終戦後の戦没者追悼式や慰霊祭は市町村ごとに結成された「遺族会」などを中心に行われ、旧八日市場市では昭和30(1955)年10月より、明治10(1877)年の西南戦争から太平洋戦争までの戦没者約13000人の慰霊祭が実施されるようになりました。

(市文化財審議会委員・依知川雅一)

問 秘書課 広報広聴班 ☎73・0080

文芸コーナー

力作募集中

宛先：匝瑳市秘書課広報広聴班
〒289-2198 匝瑳市八日市場八793番地2
☎73・0080 FAX72・1114

短歌

依知川 雅一 推薦

ますますの酷暑の夏となりそうな

どこまで耐える身の内なるを

太陽は茜に燃えて沈みゆく

我ものぞみぬ命果てる日

堂々と東京駅の槓の木は

匝瑳の誇り見るたび笑みが

退職の友の存在いまさらに

大きかりしと思う春の夜

窓から見ゆる早苗が煌めいて

すげ笹姿の母思い出し

黄金麦風にそよぎて穂波ゆれ

手にして農夫笑みを絶やさず

不動講百歳の友旅立ちぬ

昭和を語る婦人は遠くへ

石田 健治 推薦

イスラエルを成ししユダヤの人々が

なぜガザを攻めつげるのか

雀らの声脈はへる朝の戸を

繰ればともかく軒先見上ぐ

稲葉 雪子

川口 城司

俳句

椿 和枝 推薦

バス停の廃校名や雲の峰

一仕事終えて車座アイス食ふ

なんとなく一点見つむ端居かな

詰められて更につやめくさくらんぼ

老鶯や九丸はいつまで続くやら

忽と来て優遊よぎる夏の蝶

西日射す赤い鉄塔なほ赤く

石田 健治 推薦

忙がしや梅雨の晴れ間の部屋そうじ

髪洗う子と口ずさむ夏は来ぬ

川柳

勝又 康之 推薦

短冊の願い健康只一つ

彦と姫セミは初鳴き星祭り

負担です願いいっぱいしなる笹

薫の馬そうめんあげた幼き日

七夕に手をつなげない初恋よ

七夕に浴衣着てみる夕涼み

天の川逢瀬祝いの屋形船

石田 健治 推薦

締め忘れトイレで気づく前チャック

紫陽花が梅雨はまだかと待ちぼうけ

佐藤 三久

匝瑳

スズキ発見伝

巻之四

夏だ！祭りだ！匝瑳市だ！

地域おこし協力隊員の鈴木優介さんが、参加・体験した市内イベントなどで感じたことをお伝えします。

今年は水掛けスポットも一味違うようなので「楽しい祭り」の開催が今か今かと待ち遠しい限りです。



上出羽囃子連の練習の様子

匝瑳市にもアツい夏がやってきました。7月には愛宕神社（富谷）や星宮神社（籠部田）の祭礼が行われ、8月には八重垣神社祇園祭が開催されます。

皆さんは今年の祇園祭のポスターをどこかでご覧になりましたか。今年の年番町はポスターの配布に例年以上に力を入れており、市内のみならず市外でも今年の祇園祭ポスターを目にすることがあるかもしれません。

7月に上出羽会館で行われているお囃子の練習を見学してきました。本番

に向け、大人から子どもまで楽しく、そして熱心に練習しており、伝統行事を継承する一コマを見ることができました。祭り当日には、太太鼓を持った2人が跳びながらたたく「跳ね太鼓」も披露されます。その息をのむ激しさは必見です。

Instagram
Instagramで匝瑳市の魅力を発信中
アカウント名「@y_suzuki_sosa」
イベントなどの情報は
✉y.suzuki.sosa@gmail.comまで